

-----10月4日-----

## 今週のアウトルック（10/4～10/8）

先週は通貨ペアによって、状況が大きく異なる結果となりました。

ドル円は円高、ユーロ円は円安、ポンド円は円高、オージー円は横ばいといった状況です。これはドルからどの通貨へ逃避するかを選択肢の違い、円が安全通貨という見方が少し弱くなっている、ということの結果なのかもしれません。

今週もこの逃避通貨探しは続きそうですが、ユーロがチャートのレジスタンスに差し掛かっているので、ここで一度調整するようだと、ますます混とんとした状況になってしまうかもしれません。

ドル円は介入警戒感を保ちながらも、短期的な目標である83円付近に達しています。ここから一気に80円割れを目指して投機筋の円買いは続くのか、それとも日本政府の大規模な介入によって、再び大きく戻されてしまうのかは、見方が分かれるところだと思います。

介入手詰まり感から、大規模な介入はなく80円を一気に目指してしまうのではという見方もありますが、個人的には82円台に突入した時点で、大規模な介入があるのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは82円から86円です。

ユーロ円はユーロ高トレンドを継続しています。ユーロの経済危機はないという観測から、ドルからユーロへという流れは続いています。この状況が変わらなければ、しばらくこのトレンドは継続しそうですが、今週はユーロ円、ユーロドルともにレジスタンス付近に差し掛かっているため、一度調整する可能性も考慮する必要がありそうです。

また、日本政府による大規模な円売りドル買い介入があった場合、一時的にしる大きな影響はありそうです。

ユーロ円の予想レンジは112円から115円です。

ポンド円は、ドル円と動きをともにするような感じになってきています。これはユーロ圏と英国を比べた場合、英国経済の回復が遅れているという判断によるものようです。また、米国経済停滞の影響は、英国の方がより強く受けてしまうので、今後もこのような動きを継続するかもしれません。

ポンド円の予想レンジは130円から135円です。

今週は本格的な政府の介入があるのかないのか、あるとしたらどのタイミングであるのか、その辺りをめぐる駆け引きが本格化しそうです。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。